

ホームケア ⑤頭をぶつけたら

頭をぶつけた時には頭部CTなどの検査が必要なこともあります。そのようなケースは決して多くはありません。頭を打った時の様子やその後の経過によって、検査を行うか判断します。

ここでは【頭をぶつけたときに注意すべき点＝すぐに受診すべき症状】についてお知らせします。一つでも当てはまることがあれば緊急で受診してください。

- 頭痛がだんだん強くなる・機嫌が悪くなり意味もなく暴れる
- 吐き気や嘔吐を繰り返す
- ぼーっとしている・活気がなくなる
- すぐに眠ってしまう・起こそうとしてもなかなか起きない
- 強いいびきをかいて眠っている
- けいれん（ひきつけ）を起こす
- 手足の動きが悪い・しびれる・転びやすい・バランスを取れない
- おでこ以外に血腫（たんこぶ）ができてきた
- ものがぼやけて見えにくい・二重に見える
- 行動がぎこちなかったり、普段できることが出来なくなっている
- 言動がおかしく、とんちんかんな発言をする
- うまく表現できないが、保護者から見て普段と様子が違う



一つでも、あてはまるものがあればチェックをして診療時間内であれば当院へご相談ください。診療時間外でしたら紹介状と一緒に救急外来を受診してください。

頭部打撲から数日は気をつけてみてあげましょう。
上記に掲げたような症状がなくても心配であれば遠慮なくご相談ください。

頭部打撲で一番大切なことは「今後は気をつけること」です。これを機会に家庭内の環境などを見直してみましよう。



LINEでも
情報発信中

なむかわ
こどもとアレルギーのクリニック

